

東京都地方独立行政法人評価委員会

平成29年度第1回公立大学分科会議事録

1 日時

平成29年5月22日（月曜日）午後2時00分から午後2時20分まで

2 場所

産業技術大学院大学品川シーサイドキャンパス及び東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパス

3 出席者

松山分科会長、島田委員、鈴木委員、鷹野委員、高橋委員、村瀬委員、吉田委員
（分科会長を除き50音順）

4 議題

（1）報告事項

公立大学法人首都大学東京 平成29年度年度計画について

（2）その他

5 議事

（1）公立大学法人首都大学東京 平成29年度年度計画について

○松山分科会長 それでは、定刻となりましたので、分科会を開きたいと思います。本日はお忙しい中、また、この暑い中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

東京都地方独立行政法人評価委員会平成29年度第1回公立大学分科会を開催いたします。

本日は、お手元の資料にありますように報告事項が1件でございます。議題に入ります前に事務局から報告がございますので、お願いいたします。

○松崎首都大学調整担当部長 東京都総務局の首都大学調整担当部長、松崎と申します。改めてよろしく申し上げます。

もう一月以上たちましたけれども、4月1日の人事異動に伴いまして、大変お世話になりました松井課長の後任といたしまして岡大学調整担当課長が着任してございます。岡よりご挨拶

申し上げます。

○岡大学調整担当課長 ただいま紹介にありました4月1日付で大学調整担当課長となりました岡と申します。大学の仕事は初めてでございまして、委員の皆様のご指導、また、ご協力をいただきながら職務を全うしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○松崎首都大学調整担当部長 ついで、委員会とは別なんですけれども、法人の古川経営企画室長が変わりまして、以前は法人の総務部長でいました豊田が経営企画室長になってございます。同じく4月1日付でございます。

○豊田経営企画室長 豊田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。今お話にありまして、3月までは法人事務局の総務部長をしてございました。昨年度は分科会の委員の皆様、南大沢にお越しいただきまして、キャンパスの視察等もしていただきまして、ありがとうございます。今年度三期中期計画の初年度ということで、引き続き一生懸命頑張っていきたいと思っております。引き続きご指導をよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○松崎首都大学調整担当部長 よろしく申し上げます。

○松山分科会長 ありがとうございます。

それでは、本日の議題に入りたいと思います。先ほど申し上げましたように、報告事項1件でございますが、この件につきましては、特に非公開とすることがございませんので公開とさせていただきますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

傍聴人お一人ですね。よろしくお願いいたします。

早速ですが、報告事項に入らせていただきますが、法人事務局から申し上げます。

○森田企画財務課長 首都大学東京の経営企画室企画財務課長の森田と申します。本年度もよろしく申し上げます。では、座ってご説明させていただきます。

本日配付させていただいている資料で右肩に資料1と書いてございます横刷りの資料、カラーの資料をご覧いただきながらご説明させていただければと思います。

年度計画の全体版につきましては、縦版でございますけれども、同じく右肩に資料2と書いてあるものがございますが、こちらにつきましてはちょっと分量が多くなってございますので、A4判の資料1の概要の方でご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、資料1の上段の方をご覧いただければと思います。

今年度から法人は平成34年度までの6カ年の第三期中期計画という期間に入っております。3月のこちらの分科会でもご審議いただいたところでございますけれども、第三期中期計画におきましては、真ん中に書いてございます3つの重点方針を定めてございます。また、その下に※マークで書いてございますが、取組の進捗ですとか成果を定量的・客観的に把握するために、多くの項目に重要業績評価指標、K P I の設定をいたしました。こういった第三期中期計画という大前提に立って今回立案いたしました29年度の年度計画につきましては、中段に記載しております特徴を持っているというふうに考えてございます。言わずもがなではございますけれども、三期中期計画の初年度であるということ踏まえまして、三期中期計画期間の飛躍の礎となる計画とすることを大方針といたしまして、教育・研究、社会貢献、グローバル化、その他の分野について300件弱の計画、右下の方にありますが、計291項目の年度計画を策定いたしましたところでございます。

その上の資料の中段にございますけれども、幾つか方向性を捉えてつくっております。1つは中期計画初年度でありますので、その初年度に重点的に取り組むべきことを明確化・具体化するという。また、可能な限り数値等により到達目標を明確化・客観化するということ。また、この分科会等でも少しご指摘いただいているところではあるんですけども、重点事項ですとかK P I ですとか、そういったものの進捗管理をどうやっていくかという仕組みを構築したいというふうに考えております。

それでは、各学校及び法人の29年度計画につきまして4つの重点事項、今申し上げました教育・研究、社会貢献、グローバル化、また、組織運営基盤の強化、そういった柱に沿って概要を簡単に説明させていただければと思います。2ページをお開きいただければと思います。

まず、それぞれの資料の各大学・高専の資料は同じような構成になってございます。資料の中央に29年度計画の主な取組を抜粋して書かせていただいております。文中にゴシック体で書かせていただいている部分については、年度計画の中でも重点的な計画で、数値目標についてはそれほど多く書いてございませぬけれども、網掛けにして書かせていただいております。また、資料の左側の方には第二期中期期間までの主な取組を書かせていただいて、資料右上の四角枠の中にはそれぞれの分野に応じた重点的な指標、K P I の中でもさらに主な指標を記載しているところでございます。また、分科会の方から対応報告事項として設定されている項目に関する計画につきましては、それぞれ計画の末尾にピンク色の四角で対応報告事項というふうに書かせていただいているところでございます。

まず、首都大の教育・研究の充実についてでございます。教育の充実につきましては、平成

30年度の教育研究組織の再編に向けまして全部局のカリキュラムの再構築、また、大学院で分野横断型のパイロットプログラムなどの設計を進めてまいります。また、対応報告事項にも関連いたしますけれども、教学 I R に基づく教育成果の把握・検証、分析、そういったものに取り組むとともに、アドミッション・センターを設置するなどして、教育改革の推進・30年度の組織再編に向けて取り組んでまいりたいというふうに考えております。

ページの下段の四角でございますが、こちらは研究の充実でございます。こちらについては対応報告事項に関連いたしますけれども、国際的な研究拠点を目指す研究などへの重点的な支援を通じまして、研究センターの外部資金の獲得額を26年度から28年度の平均比で150%以上に増加するという目標に向かって取り組んでまいりたいというふうに考えております。また、海外の研究者との連携の強化ですとか、研究機器共用センター設立に向けた取組など、研究推進体制の整備を推進していきたいというふうに考えてございます。

次に3ページの方をご覧くださいと思います。

こちらは首都大の社会貢献の推進についてでございます。第二期中期計画期間中に引き続きまして、東京都への施策提案を促進するとともに、大都市課題解決に資する分野横断的・学際的な大型プロジェクトを2件以上創設するなど、都民生活の質的な向上への取組の充実を図ってまいりたいと考えております。

その下、グローバル化への対応の加速についてでございますが、こちらは全体が対応報告事項という形になってございます。これまで派遣、受入れともに留学生数の拡大を図ってまいりましたが、29年度には短期の受入れプログラム充実などによる量の拡大に加えまして、質を重視した国際交流協定の拡大など、国際的な教育研究環境の整備を推進していきたいというふうに考えてございます。

なお、各分野に横断的にかかわる要素としまして、それぞれの各大学・高専には2020年のオリンピック・パラリンピックに向けてどういった取組を展開するかということも書かせていただいております。首都大におきましては、29年度はボランティア・リーダー育成の取組を拡充するとともに、障がい者スポーツへの取組を充実するなど、さらにオリンピック・パラリンピックに向けた取組を展開してまいりたいというふうに考えてございます。

続いて4ページをお開きいただきまして、産業技術大学院大学の取組でございます。

産業技術大学院大学の教育・研究面の充実という項目でございますが、企業における新規事業の開発ですとか、起業ですとか創業、そういったものを担う人材育成のための教育プログラムの開発を始め、カリキュラム全体の見直しを行ってまいりたいというふうに考えております。

また、対応報告事項となっておりますけれども、志願者獲得に向けまして、産技大の卒業生のキャリアアップを紹介したロールモデル集の活用など、効果的な広報活動を展開してまいりたいというふうに考えてございます。

その下の真ん中ですが、社会貢献の推進の取組として、最新の技術動向等をテーマとするマンスリーフォーラムの充実など、社会人リカレント教育と学習コミュニティの形成支援の取組を充実してまいりたいというふうに考えております。さらに、グローバル化の取組といたしましては、グローバルPBLなどを進めてまいりたいというふうに考えてございます。

東京2020年オリンピック・パラリンピックに向けましては、オリンピック・パラリンピックに関連するテーマのPBLを2テーマ以上実施してまいりたいというふうに考えてございます。

次のページ、5ページをお開きいただければと思います。5ページは高専の取組でございます。

まず、教育・研究の充実というところでございますが、情報セキュリティ技術者、また、航空技術者を育成する新たな職業教育プログラムを着実に展開するとともに、下の方にもございますが、JABEE認定に対応したプログラムを着実に実施するなど、国際的に通用する工学教育を展開してまいりたいと思っております。

また、対応報告事項に関連いたしまして、昨年度から準備を進めてまいりましたルーブリック評価を導入するなど、学生の学習到達度評価の仕組みを充実いたしまして、授業改善の取組を進めてまいりたいというふうに考えてございます。

真ん中、社会貢献の推進の取組でございますが、こちらにつきましては、ものづくり技術者育成講座の充実ですとか、中学生向けの情報セキュリティ研修を実施することとしてまいります。

さらに、こちらも対応報告事項となっておりますけれども、グローバル化への対応の加速というところでございまして、国際的に活躍できる技術者の育成をさらに推進していくために、新たな海外体験プログラムを実施することといたしまして、70名の学生を海外に派遣したいというふうに考えてございます。

2020年のオリンピック・パラリンピックに向けましては、地域の中学生と協働いたしまして、障がい者のスムーズな移動を支援する快適環境マップの機能拡充に取り組んでまいりたいというふうに考えてございます。

最後は6ページになりますが、法人の取組でございます。

法人といたしましては、ただいまご説明をいたしました2大学1高専、それぞれの各学校が

戦略的に施策を展開していけるように組織運営基盤の強化に向けて取り組んでまいりたいと思っております。冒頭で少し触れさせていただきました重点事業の適正な進捗管理、そういったものに加えまして、中長期的な目線での財政運営、また、グローバル化を支えるための職員の海外研修の拡大、あとは対応報告事項でもございますけれども、2大学1高専のさらなる連携の推進、また、首都大の新たなマーク、スクールカラーの活用による効果的な広報の推進など、法人の運営体制についても戦略的に強化をしていきたいというふうに考えてございます。

また、下の方になりますが、対応報告事項となっております情報セキュリティの関係ですが、社会的な責任を果たすための体制整備として情報セキュリティ対策の強化に向けて、専門組織のCSIRTの強化、また、その下にございますが、ダイバーシティの推進、そういった取組も展開していきたいというふうに考えてございます。

以上、駆け足でございましたけれども、29年度の年度計画の概要につきましてご説明をさせていただきました。既に29年度はスタートしまして1カ月半ほどたっております。各大学・高専もこの計画に沿って積極的な取組をしておりますので、今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

以上です。よろしく申し上げます。

○松山分科会長 ありがとうございます。

ご質問、ご意見ございますでしょうか。既に始まっておりますが、何かございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、どうぞよろしくお願ひいたします。

(2) その他（平成29年度公立大学分科会前期スケジュール）

○松山分科会長 次に、その他でございますが、今後のスケジュールについて事務局からお願いいたします。

○岡大学調整担当課長 それでは、資料3、横の資料でございます。公立大学分科会スケジュール（予定）というところをご覧ください。

3月の分科会で一部ご説明をいたしました今年度の公立大学分科会と親委員会であります評価委員会のスケジュールについて、それぞれ開催日が決まりましたので、改めてご説明いたしたいと思います。

資料の網掛けのところは公立大学分科会でございますので、そこと合わせてその上の評価委員会のところを中心にご覧ください。

本日が第1回分科会ということでございまして、第2回分科会は7月13日、第3回分科会は8月3日に開催させていただきたいと思っております。また、同時に日程調整させていただいておりました第1回の評価委員会は、6月30日に開催予定でございます。議事といたしましては、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの中期目標案の意見聴取等を予定しております。さらに、8月21日に開催の第2回評価委員会では、公立大学法人首都大学東京の中期目標期間評価と積立金繰越しの審議を行いますので、ご出席のほどよろしく願いいたします。

次に、この分科会の一番の目的でございます業務実績評価書の作成に向けての進め方とスケジュールについて、順を追ってご説明いたします。

まず、評価素案の取りまとめのため、今後、6月12日までの3週間の期間で評定と評価コメントの作成をお願いいたしたいと思っております。期間が短くて大変恐縮でございます。委員の皆様からいただいた評定とコメントをもとに事務局で評価素案を作成いたしまして、7月13日の第2回分科会の前に事前説明にお伺いする予定といたしております。7月13日の第2回分科会は、2大学1高専及び法人の業務実績に関するヒアリングと評価素案についての審議を予定しております。この日は10時から17時までと、ほぼ丸々1日の会議を想定しております。よろしく願いいたします。

その後、第2回分科会におけるご意見を反映した評価案を作成いたします。こちらの評価案につきましては、8月3日の第3回分科会の前に事務局から事前説明をさせていただく予定でございます。

なお、いずれの事前説明につきましても、改めて事務局から日程調整のご連絡をさせていただきます。

8月3日の第3回分科会では、第二期中期目標期間の評価案の審議と平成28年度の業務実績評価を決定いたします。また、平成28年度財務諸表及び第二期中期目標期間の積立金繰越し承認にかかわる意見聴取を行う予定でございます。

なお、来年度に向けた課題ということになりますが、第三期中期目標期間における評価方針及び評価方法についても、検討に着手していただくことを考えております。

第3回分科会でご審議いただいた案件のうち、中期目標期間評価と積立金繰越しにつきましては、8月21日の評価委員会におきまして審議を行い、決定することとなります。その後、知事への報告を経て、9月の第3回都議会定例会において評価結果を報告する予定としております。

今後の予定につきましては、以上でございます。

○松山分科会長 ありがとうございます。

よろしいでしょうか。かなりハードな、かなりが3つ付くぐらいのハードなスケジュールでありますが、初めての先生方もこの資料をご欄になって、私も初めて見たときにびっくりしましたけれども、恐らくびっくりされたんじゃないかと。何かありましたら、事務局へいろいろ問い合わせいただければと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

○村瀬委員 日程は一応入れさせていただいていますので、あと、時間帯についても少しまた事前に、なるべく早目にお聞かせいただければと思います。お願いします。

○松山分科会長 これは時間は決まっていまらなかったか。

○岡大学調整担当課長 いや、決まっていますね。

○村瀬委員 終日ケースと、あと何か午後からとか、そういうことですね。大体それに合わせておりますけれども、いいですか、それで。

○松山分科会長 それで変更ないですよ。

○岡大学調整担当課長 今のところ、はい。

○松山分科会長 お忙しい中、申し訳ありませんが、よろしく願いいたします。

それでは、分科会の方はこれでよろしいでしょうか。どうもありがとうございました。これで分科会を終わりにしたいと思います。

○岡大学調整担当課長 ありがとうございます。